

クローズアップ特別委員会

高山駅西地区まちづくり構想に関する特別委員会

高山市議会では高山駅西地区まちづくり構想に関する特別委員会を設置し、高山駅西地区におけるまちづくりに関する調査研究をすすめています。

令和5年3月に策定された「高山駅西地区まちづくり構想」では、構想の中で高山駅東西の役割、まちづくりのコンセプトが示され、市民文化会館、公民館、総合福祉センターなどの機能を複合化・多機能化した高山駅西地区複合多機能施設等の整備に向けて、機能や規模、実施手法、官民が連携した取組をすすめることとしています。令和5年度中に「高山駅西地区複合・多機能施設整備基本計画」を策定することとしており、複数回にわたり特別委員会との協議が行われました。特別委員会における協議内容等について報告します。

○高山駅西地区まちづくり構想

基本コンセプトを「市民の笑顔と心をはずませる プラットホーム」とし、大ホールや多目的ホール等の文化芸術機能、誰もが気軽に立ち寄り交流できる機能、健やかな育みと子育て家庭を支える機能、公共交通機関の待ち時間等を快適に過ごすことのできる機能、市内各所で行われるイベントや活動などが発信・共有できる機能、豪雪豪雨などの自然災害から市民や観光客を守る防災機能を備える施設を整備する方針が示されました。



○事業手法について

官民連携で整備する方針が示されている中で、様々な形の連携手法があることから、事業手法について協議をすすめました。市からは様々な手法の比較において運営者先行選定方式 (DB) が総合的な評価ポイントが高いことから、運営者先行選定方式を採用する方針が示され、特別委員会としてその方向性を確認しました。

※運営者先行選定方式 (DB 方式)

施設的设计・施工よりも前に運営事業者を選定し、その後に設計・施工事業者を一括して選定する方式

○事業スケジュール

施設	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
複合・多機能施設	運営事業者選定	設計・施工事業者選定	設計	設計	施工	施工	供用開始
駐車場 (新設)				設計	施工	施工	供用開始

○特別委員会における主な論点

- ・子育て支援機能スペースの確保
- ・整備費140億円の妥当性と財源の確保
- ・整備予定施設 (現民間所有地) と駐車場予定地 (現文化会館) のアクセスと安全対策
- ・時代が変化していく中で、柔軟な対応で更新可能なものとして整備することの必要性
- ・コンセプトのふれあい、にぎわい、つながりの具現化が可能な施設整備
- ・事業の実施における市内事業者の参画
- ・高山市、運営事業者、設計・施工事業者の責任・役割の明確化と連携の重要性

○事業手法の方向性の確認

- ・公共施設の建設におけるPPP (官民連携) の手法は全国的に取組がすすめられています。高山市がすすめようとしている運営者先行選定方式は全国にも例が少ない状況ですが、運営事業者を先行して選定することにより、運営事業者の意向を反映した設計・施工が可能となるとともにコストの削減も期待できるとされています。

高山市では、初めての試みであり、責任区分や円滑な事業の実施における様々な課題も想定されますが、官民の連携によって、市民が望む施設整備に向けて、特別委員会としても関わっていきます。